帯状疱疹との戦い

８月に帯状疱疹から帯状疱疹後遺症痛に移行して、帯状疱疹が原因の運動麻痺を発症。

結果としては、どの鎮痛剤が効くかを判別するまでに時間が掛かりすぎたので、通常の生活を送ることができない日数が長くなったと思う。我慢せずに積極的に鎮痛剤を変えてもっと早くトアラセットにたどり着けば良かった。
運動麻痺については、麻痺が残ることは稀であるという説明があったが、不安もあってリハビリを始めた。始めたところ、明らかに改善が見れたので、こちらも早めに始めればよかったと後悔。

日付	状況
８月１５日	左肩が痛くて夜に何度も起きてしまう状況。
８月１８日	整形外科受診。レントゲンとエコーで左上腕二頭筋の肉離れと診断。
８月２１日	左肩に発疹を確認。
８月２２日	発疹が背中から腕まで広がり夜に３８．０の発熱。
８月２３日	整形外科を再受診し急いで大きな病院の皮膚科に行くように指示あり。仙台赤十字病院の皮膚科を受診して「帯状疱疹」の診断。アセトアミノフェンの点滴と抗ウイルス薬と鎮痛薬投与。入院を勧められるがいろいろと業務があり（家も近いので）通院を選択。鎮痛薬はカロナール６００ｍｍ×３、プレガバリン７５ｍｍ×１。
８月２５日	痛みで気づかなかったが、左肩が上がらないことに気づく。
９月１日	痛みが取れないのでプレガバリン７５ｍｍ×２に変更。、ロキソプロフェン６０ｍｇ×２を追加。キーボードで左手を使うと１５分程度で痛くてダウン。日中もゴロゴロしている状態。
９月１６日	改善しないのでカロナールをトアラセット×４錠に変更しロキソプロフェン中止。仙台市立病院の麻酔科（ペインクリニック）への転院を提案されて紹介状を用意してもらう。
９月２１日	仙台市立病院の麻酔科受診。トアラセットに変えたことで痛みが改善されていることを伝える。
１１月２日	痛みが改善されているのでトアラセット×２錠に変更、プレガバリンを中止。
１１月５日	腕が上がらない状態は変わらなかったので、リハビリを開始（自宅で行う）。
１１月３０日	トアラセット×１錠に変更、リハビリで腕の状態も順調。
１２月１３日	トアラセットを中止。これですべての薬から解放。
１２月２８日	不自由さは残るが腕も上がるようになったので、通院から卒業！